

令和３年度 第２回 ひめじ創生戦略会議 資料説明

■ ひめじ創生の主な取組について（資料１）

１ ページ

「ひめじ創生に向けた事業展開の考え方」について

ひめじ創生戦略は、人口減少の緩和と地域の活性化に取り組みながら、令和３年度より新たな総合計画に統合しました。

現状として、東京を中心とする大都市圏への転出超過数は高い水準で推移しており、課題は、若者、特に若い女性に地域の魅力が十分に伝わっていないことが考えられます。

対策として、若者の移住・定住の促進、創業支援の推進など、若い世代を中心に人口の社会増を図る取組を引き続き進めます。

併せて、結婚、子育て世代が将来にわたる展望を描ける環境づくりが重要であると考え、結婚、妊娠、出産期の支援、幼児期・保育の支援など、少子化対策・子ども支援を推進し、出生率の向上につなげます。

SDGs 推進の目的は「地方創生の実現」です。市民や経済界とともに SDGs に取り組むことで、持続可能な社会として、地域経済を活性化し、人口減少社会にも対応できる地方創生の実現を目指します。

「重要業績評価指標の状況」（左下）

「市全体の社会増減」については、社会増減は平成 27 年より徐々に改善し、平成 30 年、令和元年にはプラスに転じていましたが、コロナで東京の一極集中が緩和しているにもかかわらず、姫路市は令和 2 年△17 人、令和 3 年△1,256 人と大きく社会減となっています。

姫路市の転出・転入者数を分析すると、転出先は 1 位東京都、2 位大阪府、3 位神奈川県となっており、県内では、神戸市が多くなっています。また、本市への転入は岡山県、鳥取県、福岡県からとなっています。全体では、転出は前年とほぼ変わっていませんが、転入が 1,234 人減少しています。

「年齢別転出超過の状況」（右側のグラフ）

20～29 才の若者の転出が多く、特に 20～24 才の女性の転出が増大していることが分かります。進学、就職を機に転出していると考えられます。

今後の方策としては、地方からの転入者を増やすのではなく、転出者を減らす、特に若い女性向けの取組が必要と考えられるので、引き続き、若者の定住を促進する取組を行っていきたいと考えています。

2 ページ

「『ひと』と『しごと』の好循環 それを支える『街の活性化』」

人を育て、安定した雇用を創出し、充実した経済で都市基盤を整備する。そしてまた、人を育てる、という「ひと」と「しごと」の好循環。それを支える「まち」の活性化を推進してきました。今年度より SDGs の観点を入れ、ひめじ創生を推進していきます。

3 ページ

「SDGs について」

令和 3 年 5 月に姫路市は、SDGs 未来都市に選定されました。

「2030 年のあるべき姿」として、SDGs 未来都市を推進することにより、グローバル人材を育成します。

当市で郷土愛を育み、脱炭素型のライフスタイルを身につけた SDGs マインドを持つ若者が、姫路地域で活躍しつつ、海外と本国をつなぐ「架け橋」となっている姿を目指します。

4 ページ

「SDGs 未来都市の概要」

姫路市 SDGs 未来都市の概要を図にしています。

「グローバル人材」を育成するため、経済・社会・環境の三側面から取り組んで参ります。

5 ページ・6 ページ

「SDGs 未来都市に定める KPI」

5 ページが 2030 年のゴールに向けての KPI です。

6 ページが 2023 年度までの 3 年度間の KPI です。

今年度の数値については、次回の 5 月の会議でお諮りします。

7～16 ページは、「『まち・ひと・しごと』の主な取組事例」です。

7 ページ

「姫路市 SDGs 宣言の創設」

令和 3 年 11 月 25 日に制度を開始し、現在の宣言数は約 100 社です。

8 ページ

「スマート市民農園×農業版 STEAM 教育」

農業用ロボットの活用により、障がい者や高齢者でも農業をすることができる取組を行っています。

9 ページ

「アグリテック甲子園」

全国の高校生・大学生からテクノロジーを駆使し、農業にイノベーションをもたらすアイデアを募集し、6 チーム(北海道、岩手県、兵庫県から参加)が発表を行いました。

10 ページ

「新婚新生活支援事業」

結婚に伴う新生活への準備のため補助金を交付します。現在 75 件の申請があり、1 世帯当たり 30 万円、マイナンバーカード所有していれば 35 万円まで交付します。

11 ページ

「ひめじ創生 SDGs カフェ」「ひめじ創生 SDGs アワード」

ひめじ創生 SDGs カフェは、高校生、大学生などの若い世代の方が SDGs をキーとして、姫路の未来について語り合っていたいただく事業です。

ひめじ創生 SDGs アワードは、SDGs の取組を発表する事業です。

12 ページ

「国際理解講演会の実施」

「ポーランドと日本～異文化協力」をテーマに講演会を開催します。

現在ポーランドのヴァヴェル城との世界遺産姉妹城提携を目指して調整しています。

13 ページ

「食品ロス削減の取組」

「姫路市食品ロスもったいない運動」を展開しています。

食品ロス削減に対する取組で、市役所やマックスバリュ、ドン・キホーテなどで展開しています。

14 ページ

「ボトル to ボトルリサイクル事業」

ペットボトルの資源循環型リサイクル事業を域内で実施することにより、廃棄物の減量を資源の有効活用を推進し、持続可能な環境・経済・社会を目指します。

15 ページ

「水素エネルギーの利用拡大」

二酸化炭素排出量の削減の取組として、水素ステーションや燃料電池バスの支援を行っています。

16 ページ

「空き家対策」

空き家バンクに登録された空き家とセットで農地を取得する場合、農地の下限面積の要件を引き下げました。令和3年8月から現在までの実績は、6件の登録で成約が2件ありました。

17 ページ

「その他（市職員への取組）」

職員研修会を開催し、SDGsの取組方法などを説明しました。

また各課でグループワークを実施し、各課の事業がSDGsの推進にどうつながるか意見交換しました。

18 ページ

「令和4年度の取組について」

地方創生推進交付金を活用し、「SDGs×グリーン」グローバル人材育成事業に取り組んでいます。（令和4年度予算：25,864千円）

具体的には、

- ・ 市内事業者向けセミナー
- ・ 中山間地域ブランド化
- ・ SDGs こどもサミット
- ・ 姫路市魅力発見動画コンテスト
- ・ ESD（環境学習）の普及
- ・ エコフェスタの開催などに取り組んでいます。